



# MODRINAEの取り組み

環境計測株式会社では、森づくりへ直接的に参加出来るカタチとして、**MODRINAE(戻り苗)**を育てています。

MODRINAEは、どんぐりを植木鉢で育て、苗を山に植え戻すことで伐採跡地を緑化し、土砂災害の防止などに貢献することを目的とした観葉植物です。

当社では本社エントランスに24株、社長室に1株、東京、神奈川、中部、大阪、神戸の各事務所で1株ずつを育てており、防災やカーボンニュートラルといった社会貢献の一環として取り組んでいます。

まだ小さな苗ですが、いつか人々を守ることを願っています。

次ページよりMODRINAEの取り組み内容をご紹介しますので、ぜひご覧ください。

# MODRINAE(ウバメガシ)の成長記録

京都本社では、2023年1月からMODRINEを育て始めました。

最初は1年生の苗を送ってもらい、写真のキャニスターで24鉢を育てはじめ、1年後に最上段の6鉢以外を山に返しました。2年目からは、最下段の6鉢をどんぐりから、2段目と3段目を1年生苗から、最上段は引き続き2年生苗を育てています。

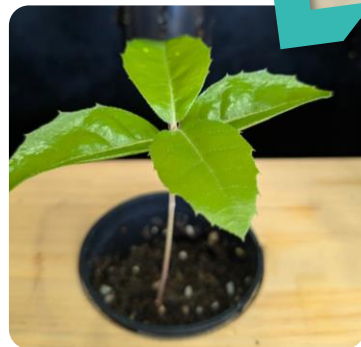


2年生苗

1年生苗

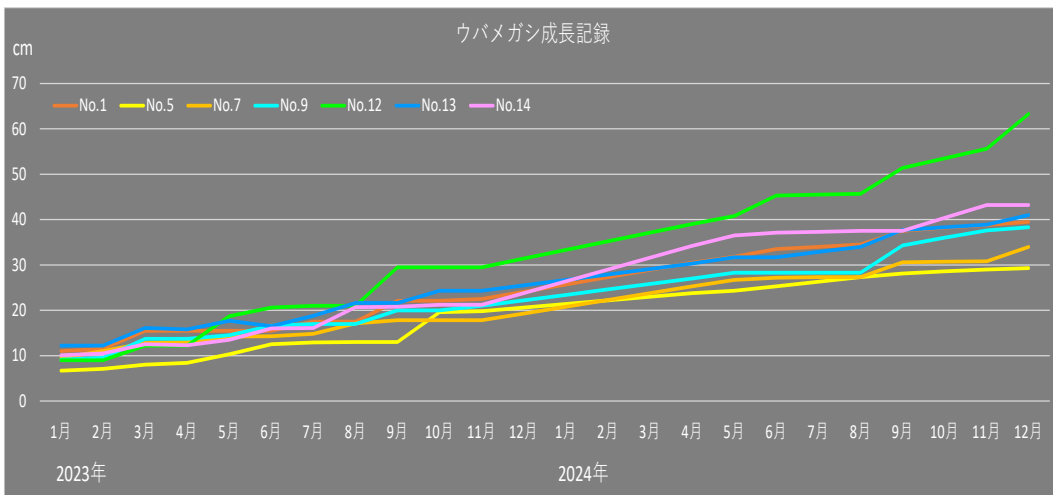
1年生苗

どんぐり



苗の成長は定期的にモニタリングしています。

計測結果から、どんぐりから1年目、2年目、3年目までは概ね15cmずつ成長していることが分かりました。個体差があり、最大個体は1年生苗からの2年間で54.3cm成長した個体もありました。個体差の要因はまだ分かりませんが、引き続き成長を見守っていきます。



# 合同植樹祭『Scrap and Reforest2024』への参加

2024年11月30日(土)に開催されました、株式会社ソマノベース主催の合同植樹祭『Scrap and Reforest』に弊社社員が参加いたしました。

合同植樹祭には、「MODRINAE(戻り苗)」に関わる全国各地の企業・自治体・行政関係者の方々、合計20団体・約50名が和歌山県田辺市に集まり、交流を深める場となりました。



急傾斜の伐採跡地でのウバメガシの苗木の植え付けを行った後、地域のワークスペースに移動し、新しい森づくりの在り方を模索するワークショップや同じ問題意識を持つ企業同士の交流会が行われました。

今回の植樹祭で生まれた繋がりを大切に、森林、防災、カーボンニュートラル、生物多様性などといったキーワードに関連する、社会課題解決のための新規事業開発に繋がっていきたいと思います。

